

| | | | |
|--------|------------------|-----|------|
| 所 属 | 農林商工部農林水産局 農産振興室 | | |
| 担当(係)名 | 土づくりグループ | 内 線 | 2843 |

| | | |
|----------------------------------|---------|--------------|
| (款)6農林水産業費 | (項)1農業費 | (目)(13)植物防疫費 |
| (明細書事業名) 農薬安全使用対策費 残留農薬防止対策事業 | | |

1 当初予算(要求)額(千円)

13,457

2 当初予算(決定)額(千円)

12,000

(前年度 3,000)

【財源内訳】

国 庫

0

県 債

0

一般財源

12,000

3 事業概要

中国産野菜の残留農薬問題や無登録農薬問題等、「農薬」を巡る様々な問題により失った消費者の「食」への信頼を早急に回復することが求められています。

そこで、県では残留農薬の心配のない安全・安心な農産物を提供するため、農薬安全使用の指導強化や行政による残留農薬検査と生産団体・出荷団体等の自主検査を組み合わせた多重検査体制の構築を図っていきます。

4 施策の効果

残留農薬に対する農協・生産者集団等の自主検査、農林水産局(朝市対象)及び健康局の検査により3段階のチェック体制となり、安全・安心な農産物供給体制が構築されます。

5 要求の内容

朝市農産物安全安心確保事業 6,882千円

県内朝市等直売所で販売される主な農産物の残留農薬を検査するとともに、農家に農薬安全使用の指導を実施

・検査対象朝市 233カ所(平成14年度165カ所)

残留農薬自主検査条件整備事業 6,575千円

生産段階で残留農薬分析に必要な簡易キットの導入に対して支援

6 用語の解説

中国産野菜の残留農薬問題

低価格の中国産野菜(安い人件費と広大な面積を背景に栽培)の輸入量が、急増している中、輸入野菜から相次いで残留農薬が基準値を超過しているものが見つかりました。

これは中国国内でのずさんな農薬の使用や管理が原因と考えられています。

7 決定内容

決定額 12,000千円

朝市農産物安全安心確保事業 6,730千円

残留農薬自主検査条件整備事業 5,270千円

・事業費を精査の上、所要額を予算措置した。